

文学と語学教育

——佛教大学英米学科 1 年生対象の意識調査の分析 (8)——

松 本 真 治

1. はじめに

佛教大学では2019年4月から新カリキュラムがはじまり、とりわけ文学部英米学科のカリキュラムは大きく変化した。英米学科の母体は1975年開設の文学部英文学科であり、英米学科はカリキュラム的にもイメージ的にも旧英文学科の姿を脱することができていなかったと思われる。2001年に英語英米学科、2004年に英米学科へと改称してきたが、カリキュラムとしては英語コミュニケーション系と英語文化系の二系統構成を保ってきた。2019年4月開始の新カリキュラムでは、これまでのイメージを一新すべく、英語コミュニケーション系と英語文化系の二系統を廃止し、英米学科生が全員2年生秋学期には海外研修（留学）に参加することを必修にした。これにより、英米学科は文学ではなく語学を学ぶ学科であることの性格付けを明確にした。

文学と語学教育のあり方の方向づけを見据えるために、筆者は2007年度より英米学科新入生を対象に、英米文学と英語学習に関する意識調査をアンケート形式で実施している。2019年度も例年どおり、春学期の英米学科1年生必修科目「英語文学論1H」（旧「英米文学入門1H」）の第1回目の授業（4月）で調査を実施した。英米学科では旧カリキュラムにおいても一学期間の海外研修（留学）プログラムを実施してきたが、あくまでも任意参加であり、一学年70名定員のところ、一回の参加者は多くても10名程度であった。海外研修（留学）が必須となった新カリキュラムの英米学科に入学してくる学生は、英米文学と英語学習に関して、これまでの入学生とは異なる意識を持っている

本稿では、2019年4月調査結果を、アンケートの各項目についての自由記述は省き、カテゴリカルデータ（順位および頻度）の結果について報告するとともに、2018年4月調査結果と比較検討する。また、今回ははじめての試みとして、4月の初回の授業だけでなく、最終回の授業（7月）において再度調査を実施した。入学時と春学期終了時の意識の違いについても比較検討する。

アンケート (2019年度)

- 2 —

4) 英語を読むとき、直読直解（英語を英語のまま日本語に訳さずに読む）を心がけていますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

5) 文学（日本・外国を問わず）は好きですか？ どんな文学ですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

6) 次の英米の作家・作品について〔知っている⇒○／聞いたことはある⇒△／知らない⇒×〕をつけてください。

〈省 略〉

7) 映画は好きですか？ どんな映画ですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

8) 日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

9) 英語を習得するためには「リーディング（reading／読解）」という作業は必要だと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

10) 英語で書かれた本は好きですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない

4. どちらかと言えば好きではない

5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

11) 授業以外で英語で書かれたものをを読みますか？ その理由も書いてください。

1. 日常的に読む 2. ときどき読む 3. 読まない

(一つだけ丸をつけてください)

12) 英語で書かれた Web ページや email をを読みますか？ その理由も書いてください。

1. 日常的に読む 2. ときどき読む 3. 読まない

(一つだけ丸をつけてください)

13) 授業以外で英語で書かれたものをを読みたいですか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない

4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

14) 英語で書かれたものをを読むなら、どんなものが読みたいですか？ 次の選択肢から選んで丸をつけてください。(複数回答可)

1. 小説 2. 詩 3. 新聞 4. 雑誌 5. ノンフィクション

6. 歴史 7. リーダー [やさしい英語で書き直された本]

8. TOEIC / 英検等の試験対策問題 9. Web ページ 10. email

15) 英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない

4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

16) 目標とする英語力はどの程度ですか？ そのためにどんな学習が必要だと思いますか？

17) 英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
 4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない
 (一つだけ丸をつけてください)

2. 2019年度アンケート結果

▼表 1-0 実施データ

実 施 日	入学者数	授業登録者数	回答者数
2019年 4 月10日	74名	74名	73名
2019年 7 月24日	74名	74名	71名

▼表 1-1 ①英米文学は勉強すべきだと思いますか？

	そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2019年 4 月	26 35.6%	30 41.1%	14 19.2%	3 4.1%	0 0.0%
2019年 7 月	22 31.0%	31 43.7%	15 21.1%	3 4.2%	0 0.0%

▼表 1-2 ②英語を読むとき、訳文（和訳）は必要ですか？

	そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2019年 4 月	14 19.2%	21 28.8%	22 30.1%	13 17.8%	3 4.1%
2019年 7 月	32 45.1%	30 42.3%	7 9.9%	1 1.4%	1 1.4%

▼表 1-3 ③英語を読むとき、直読直解（英語を英語のまま日本語に訳さずに読む）を心がけていますか？

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
2019年 4月	18 24.7%	29 39.7%	22 30.1%	3 4.1%	1 1.4%
2019年 7月	21 29.6%	37 52.1%	7 9.9%	5 7.0%	1 1.4%

▼表 1-4 ④文学（日本・外国は問わず）は好きですか？

	好 き	どちらかと言えば好き	どちらとも言えない	どちらかと言えば好きではない	好きではない
2019年 4月	13 17.8%	13 17.8%	27 37.0%	10 13.7%	10 13.7%
2019年 7月	19 26.8%	21 29.6%	20 28.2%	9 12.7%	2 2.8%

▼表 1-5 ⑤映画は好きですか？

	好 き	どちらかと言えば好き	どちらとも言えない	どちらかと言えば好きではない	好きではない
2019年 4月	41 56.2%	23 31.5%	6 8.2%	1 1.4%	1 1.4%
2019年 7月	52 73.2%	15 21.1%	4 5.6%	0 0.0%	0 0.0%

▼表 1-6 ⑥日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？

	好 き	どちらかと言えば好き	どちらとも言えない	どちらかと言えば好きではない	好きではない
2019年 4月	6 8.2%	8 11.0%	36 49.3%	17 23.3%	6 8.2%
2019年 7月	7 9.9%	11 15.5%	37 52.1%	11 15.5%	5 7.0%

▼表 1-7 ⑦英語を習得するためには「リーディング (reading/ 読解)」という作業は必要だと思いますか？

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
2019年 4月	54 74.0%	17 23.3%	2 2.7%	0 0.0%	0 0.0%
2019年 7月	48 67.6%	20 28.2%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%

▼表 1-8 ⑧英語で書かれた本は好きですか？

	好 き	どちらかと言えば好き	どちらとも言えない	どちらかと言えば好きではない	好きではない
2019年 4月	8 11.0%	17 23.3%	39 53.4%	5 6.8%	4 5.5%
2019年 7月	7 9.9%	21 29.6%	31 43.7%	10 14.1%	2 2.8%

▼表 1-9 ⑨授業以外で英語で書かれたものを读みますか？

	日常的に読む	ときどき読む	読まない
2019年 4 月	3 4.1%	39 53.4%	31 42.5%
2019年 7 月	5 7.0%	35 49.3%	31 43.7%

▼表 1-10 ⑩英語で書かれた Web ページや email を读みますか？

	日常的に読む	ときどき読む	読まない
2019年 4 月	3 4.1%	13 17.8%	57 78.1%
2019年 7 月	8 11.3%	26 36.6%	37 52.1%

▼表 1-11 ⑪授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？

	そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2019年 4 月	26 35.6%	38 52.1%	6 8.2%	1 1.4%	2 2.7%
2019年 7 月	10 14.1%	35 49.3%	19 26.8%	4 5.6%	3 4.2%

▼表 1-12 ⑫英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？

	そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2019年 4 月	55 75.3%	17 23.3%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
2019年 7 月	44 62.0%	20 28.2%	5 7.0%	0 0.0%	1 1.4%

▼表 1-13 ⑬英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？

	そう思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2019年 4 月	36 49.3%	25 34.2%	10 13.7%	1 1.4%	1 1.4%
2019年 7 月	41 57.7%	20 28.2%	8 11.3%	0 0.0%	0 0.0%

▼表 1-14 ⑭英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？
(複数回答可)

	小 説	詩	新 聞	雑 誌	ノンフィクション
2019年 4 月	60 82.2%	5 6.8%	17 23.3%	23 31.5%	12 16.4%
2019年 7 月	37 52.1%	8 11.3%	15 21.1%	23 32.4%	7 9.9%

	歴 史	リーダー	TOEIC / 英検等	Web ページ	email
2019年 4 月	7	17	25	8	5
	9.6%	23.3%	34.2%	11.0%	6.8%
2019年 7 月	2	22	18	14	2
	2.8%	31.0%	25.4%	19.7%	2.8%

▼表 1-15 ⑮次の英米の作家・作品について [知っている／聞いたことはある／知らない] をつけてください。

2019年 4 月			
	知っている	聞いたことはある	知らない
チャールサー	5	8	57
	6.8%	11.0%	78.1%
シェイクスピア	42	31	0
	57.5%	42.5%	0.0%
ミルトン	8	18	44
	11.0%	24.7%	60.3%
ジェイン・オースティン	1	8	61
	1.4%	11.0%	83.6%
ワーズワース	1	6	63
	1.4%	8.2%	86.3%
コールリッジ	0	1	69
	0.0%	1.4%	94.5%
バイロン	5	5	60
	6.8%	6.8%	82.2%
ディケンズ	7	7	56
	9.6%	9.6%	76.7%
ブロンテ姉妹	0	2	68
	0.0%	2.7%	93.2%

ハーディ	0	6	64
	0.0%	8.2%	87.7%
オスカー・ワイルド	3	16	51
	4.1%	21.9%	69.9%
D. H. ロレンス	0	7	63
	0.0%	9.6%	86.3%
ジェイムズ・ジョイス	1	10	58
	1.4%	13.7%	79.5%
T. S. エリオット	1	3	66
	1.4%	4.1%	90.4%
イエイツ	0	0	70
	0.0%	0.0%	95.9%
グレアム・グリーン	0	2	68
	0.0%	2.7%	93.2%
サマセット・モーム	0	0	70
	0.0%	0.0%	95.9%
コンラッド	0	3	67
	0.0%	4.1%	91.8%
ジョージ・オーウェル	0	4	66
	0.0%	5.5%	90.4%
バーナード・ショー	3	12	55
	4.1%	16.4%	75.3%
E. M. フォースター	1	3	66
	1.4%	4.1%	90.4%
ヴァージニア・ウルフ	0	3	66
	0.0%	4.1%	90.4%
エドガー・アラン・ポー	5	4	61
	6.8%	5.5%	83.6%

マーク・トウェイン	0	1	69
	0.0%	1.4%	94.5%
メルヴィル	0	4	66
	0.0%	5.5%	90.4%
ロバート・フロスト	0	3	67
	0.0%	4.1%	91.8%
ヘンリー・ジェイムズ	3	15	52
	4.1%	20.5%	71.2%
フィッツジェラルド	1	1	68
	1.4%	1.4%	93.2%
フォークナー	0	8	62
	0.0%	11.0%	84.9%
ヘミングウェイ	11	17	42
	15.1%	23.3%	57.5%
オー・ヘンリー	3	13	54
	4.1%	17.8%	74.0%
スタインベック	1	2	67
	1.4%	2.7%	91.8%
テネシー・ウィリアムズ	1	5	64
	1.4%	6.8%	87.7%
アーサー・ミラー	2	11	57
	2.7%	15.1%	78.1%
ソール・ベロー	0	0	69
	0.0%	0.0%	94.5%
サリンジャー	5	1	64
	6.8%	1.4%	87.7%
アップダイク	0	0	69
	0.0%	0.0%	94.5%

『ハムレット』	20	29	22
	27.4%	39.7%	30.1%
『マクベス』	5	9	56
	6.8%	12.3%	76.7%
『リア王』	8	13	50
	11.0%	17.8%	68.5%
『オセロー』	8	17	45
	11.0%	23.3%	61.6%
『ロミオとジュリエット』	54	18	1
	74.0%	24.7%	1.4%
『ベニスの商人』	15	20	37
	20.5%	27.4%	50.7%
『自負と偏見』	0	4	67
	0.0%	5.5%	91.8%
『オリバー・ツイスト』	3	6	61
	4.1%	8.2%	83.6%
『クリスマス・キャロル』	18	24	30
	24.7%	32.9%	41.1%
『荒地』	1	9	61
	1.4%	12.3%	83.6%
『ジェイン・エア』	0	1	69
	0.0%	1.4%	94.5%
『嵐が丘』	1	2	67
	1.4%	2.7%	91.8%
『ガリバー旅行記』	37	24	12
	50.7%	32.9%	16.4%
『ドリアン・グレイの肖像』	0	5	65
	0.0%	6.8%	89.0%

『ダーバヴィル家のテスト』	1	0	69
	1.4%	0.0%	94.5%
『チャタレイ夫人の恋人』	6	13	51
	8.2%	17.8%	69.9%
『闇の奥』	0	1	69
	0.0%	1.4%	94.5%
『月と六ペンス』	1	0	69
	1.4%	0.0%	94.5%
『ユリシーズ』	0	0	70
	0.0%	0.0%	95.9%
『インドへの道』	1	2	67
	1.4%	2.7%	91.8%
『ダロウェイ夫人』	1	1	68
	1.4%	1.4%	93.2%
『第三の男』	0	6	64
	0.0%	8.2%	87.7%
『怒りのぶどう』	1	1	67
	1.4%	1.4%	91.8%
『マイ・フェア・レディ』	2	3	64
	2.7%	4.1%	87.7%
『白鯨』	8	11	50
	11.0%	15.1%	68.5%
『モルグ街の殺人』	0	6	65
	0.0%	8.2%	89.0%
『老人と海』	3	4	63
	4.1%	5.5%	86.3%
『武器よさらば』	1	6	62
	1.4%	8.2%	84.9%

『ハックルベリイ・フィンの冒険』	1	2	67
	1.4%	2.7%	91.8%
「賢者の贈り物」	0	7	63
	0.0%	9.6%	86.3%
「最後の一葉」	1	2	68
	1.4%	2.7%	93.2%
『デイジー・ミラー』	0	1	69
	0.0%	1.4%	94.5%
『響きと怒り』	0	2	68
	0.0%	2.7%	93.2%
『はつかねずみと人間』	1	5	65
	1.4%	6.8%	89.0%
『偉大なギャツビー』	3	2	65
	4.1%	2.7%	89.0%
『誰がために鐘は鳴る』	0	7	63
	0.0%	9.6%	86.3%
『ガラスの動物園』	0	2	67
	0.0%	2.7%	91.8%
『セールスマンの死』	0	1	69
	0.0%	1.4%	94.5%
『ライ麦畑で捕まえて』 (『キャッチャー・イン・ザ・ライ』)	9	8	52
	12.3%	11.0%	71.2%
『風と共に去りぬ』	7	12	52
	9.6%	16.4%	71.2%

※無回答もあり

3. 2019年度アンケート結果の考察

3.1 2018年度調査結果との比較

2019年4月調査の結果を2018年4月調査の結果と比較すると、総体的には2018年度と同じような傾向が見られる。しかしながら、いくつかの質問項目において、効果量は小さいながらも、有意差の認められるものがあった。その一つが質問項目「②英語を読むとき、訳文（和訳）は必要ですか？」で（ $U = 2858.5$, $p = .011$, $r = .22$ ）、訳文（和訳）が積極的に必要だと感じている回答が2018年度は圧倒的に多かったが、2019年度では「どちらとも言えない」が増えている（表2-1）。

▼表2-1 ②英語を読むとき、訳文（和訳）は必要ですか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2019年 4月	14 19.2%	21 28.8%	22 30.1%	13 17.8%	3 4.1%
2018年 4月	18 28.6%	30 47.6%	6 9.5%	5 7.9%	4 6.3%

また、質問項目「⑩英語で書かれた Web ページや email を読みますか？」に関しても有意差が見られ（ $U = 2656.5$, $p = .017$, $r = .21$ ）、2019年度入学生は2018年度入学生よりも Web ページや email を読まない傾向にあるようだ（表2-2）。

▼表 2-2 ⑩英語で書かれた Web ページや email を読みますか？

	日常的に読む	ときどき読む	読まない
2019年 4 月	3	13	57
	4.1%	17.8%	78.1%
2018年 4 月	1	25	35
	1.6%	39.7%	55.6%

質問項目「⑩英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？（複数回答可）」に関して有意差が認められたのは、小説（ $\chi^2(1) = 8.04$, $p = .005$, $\phi = .24$ ）と雑誌（ $\chi^2(1) = 6.08$, $p = .014$, $\phi = .21$ ）であった。2018年度入学生と比べると、より多くの割合の2019年度入学生が小説を選んでいるが、雑誌に関しては少なくなっている（表 2-3）。

▼表 2-3 ⑭英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？
（複数回答可）

【小説】

	Yes	No
2019年 4 月	60	13
	82.2%	17.8%
2018年 4 月	38	25
	60.3%	39.7%

【雑誌】

	Yes	No
2019年 4 月	23	50
	31.5%	68.5%
2018年 4 月	33	30
	52.4%	47.6%

質問項目「⑭次の英米の作家・作品について [知っている／聞いたことはある／知らない] をつけてください」については、調査の意図としては、いかに新入生が英米の作家・作品について知識がないのかを把握することである。また、「知っている」と「聞いたことはある」の回答の境界線はいまいきなので、この二つの回答を合算し、「知っている／聞いたことはある」と「知らない」としたうえで比較した。有意差が見られたのは、エドガー・アラン・ポー（ $\chi^2(1) = 5.06$, $p = .024$, $\phi = .20$ ）、ヘミングウェイ（ $\chi^2(1) = 5.09$, $p = .024$, $\phi = .20$ ）、『チャタレイ夫人の恋人』（ $\chi^2(1) = 5.42$, $p = .020$, $\phi = .20$ ）、

『老人と海』（ $\chi^2(1) = 5.50$, $p = .019$, $\phi = .20$ ）であった。2019年度は、ポー、ヘミングウェイ、『老人と海』を知らないという回答が増えたが、その一方で『チャタレイ夫人の恋人』を知らないという回答が減った（表2-4）。

▼表2-4 ⑮次の英米の作家・作品について [知っている／聞いたことはある／知らない] をつけてください。

【エドガー・アラン・ポー】

	知っている／ 聞いたことはある	知らない
2019年 4月	9 12.3%	61 83.6%
2018年 4月	18 28.6%	45 71.4%

【ヘミングウェイ】

	知っている／ 聞いたことはある	知らない
2019年 4月	28 38.4%	42 57.5%
2018年 4月	37 58.7%	25 39.7%

【『チャタレイ夫人の恋人』】

	知っている／ 聞いたことはある	知らない
2019年 4月	19 26.0%	51 69.9%
2018年 4月	7 11.1%	56 88.9%

【『老人と海』】

	知っている／ 聞いたことはある	知らない
2019年 4月	7 9.6%	63 86.3%
2018年 4月	16 25.4%	47 74.6%

全体的な傾向として、英米学科入学生の英米の作家・作品に関する知識は乏しいが、2019年、2018年のいずれの年度においても、シェイクスピアを知らないという回答は0%であり、また『ロミオとジュリエット』はよく知られているようである。その一方で『ライ麦畑で捕まえて』（『キャッチャー・イン・ザ・ライ』）と『風と共に去りぬ』の二作品の知名度が（意外と）低い状況は変わっていない（表2-5）。

▼表 2-5 ⑮次の英米の作家・作品について [知っている／聞いたことはある／知らない] をつけてください。

【シェイクスピア】

	知っている	聞いたことはある	知らない
2019年 4 月	42	31	0
	57.5%	42.5%	0.0%
2018年 4 月	42	19	0
	66.7%	30.2%	0.0%

【『ロミオとジュリエット』】

	知っている	聞いたことはある	知らない
2019年 4 月	54	18	1
	74.0%	24.7%	1.4%
2018年 4 月	51	10	2
	81.0%	15.9%	3.2%

【『ライ麦畑で捕まえて』（『キャッチャー・イン・ザ・ライ』）】

	知っている	聞いたことはある	知らない
2019年 4 月	9	8	52
	12.3%	11.0%	71.2%
2018年 4 月	7	13	42
	11.1%	20.6%	66.7%

【『風と共に去りぬ』】

	知っている	聞いたことはある	知らない
2019年 4 月	7	12	52
	9.6%	16.4%	71.2%
2018年 4 月	6	15	41
	9.5%	23.8%	65.1%

3.2 2019年4月調査結果と7月調査結果の比較

英米学科生が英米文学を学ぶことに関する3つの質問項目、「①英米文学は勉強すべきだと思いますか?」「⑫英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか?」「⑬英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか?」に関しては、いずれも肯定的な意見が優勢であり、その意識は一学期間の学修を終えた7月調査時点でも変化は見られない(表1-1, 1-12, 1-13)。

映画に関する質問項目に関しても、大半の回答者は映画は好きであるが、日本語字幕なしの英語音声だけの映画については「どちらとも言えない」という回答が約半数を占めるという傾向にも変化はない(表1-5, 1-6)。

英語学習に関しては、英語を読むときに直読直解を心がけているかという問いに対する回答として、4月調査では「どちらとも言えない」という回答が30.1%であったが、7月調査では9.9%となり、その代わりに「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」という肯定的な意見が増えて合計81.7%を占めている(表1-3)。ただ、全体的な傾向として、統計学的に有意差の見られるものではない($U = 2960.5$, $p = .115$, $r = .13$)。

英語の習得には「リーディング (reading/ 読解)」という作業が必要であることは、大半の回答者が認めることであることは7月調査でも同じである(表1-7)。しかしながらその一方で、英語で書かれた本が好きかという問いに対しては、約半数の回答者が「どちらとも言えない」のままであり、肯定派、否定派の割合が大きく変化しているわけではない(表1-8)。また、質問項目「⑨授業以外で英語で書かれたものを读みますか?」についても、その回答の傾向には大きな変化はなく、7月調査でも依然として「読まない」という回答が43.7%を占めている(表1-9)。英米学科入学生の約半数は、英語リーディングの必要性を入学時から理解しているにもかかわらず、一学期間の学修を終えても、英語を自主的に読む習慣が身についていないというのが現状である。

以上が4月調査結果と7月調査結果の共通点であるが、有意差の見られる質問項目もいくつかあった。その一つが質問項目「②英語を読むとき、訳文

(和訳)は必要ですか?」であり ($U = 3767$, $p = .000$, $r = .41$)、4月調査では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」という回答が合わせて48%であったのが、7月調査では87.4%と大きく増えている(表1-2)。7月調査では自由記述欄を設けていなかったのも、この変化の理由を知るすべはないが、英米学科での英語学習を通して、訳文(和訳)の必要性を感じるようになったのであろうか。

質問項目「④文学(日本・外国は問わず)は好きですか?」については、効果量は小さいが有意差が見られた($U = 3202$, $p = .012$, $r = .21$)。4月の入学以降、総体的に文学に対して好意的な意見が増えたことは、英文学を専門とし、「英語文学論1H」を担当している者としては喜ばしい限りである。

英語学習に関する質問項目で有意差が認められたのは「⑩英語で書かれたWeb ページや email を読みますか?」($U = 3277.5$, $p = .001$, $r = .27$)と「⑪授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか?」($U = 1707$, $p = .000$, $r = .32$)である。4月の入学時と比べて、Web ページや email を読む学生が増えたことはうれしいが、それでもまだ52.1%の回答者は「読まない」と答えているのは残念である(表1-10)。前述の通り、「⑨授業以外で英語で書かれたものを読みますか?」という現状を問う質問に対する回答については傾向の変化はなかったが、「⑪授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか?」という意識を問う質問に対しては、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」という肯定的な回答が4月では87.7%であったのが、7月では63.4%になっている(表1-1)。入学時よりも英語学習に対する意欲が薄れたのであろうか。

質問項目「⑭英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいです か? (複数回答可)」については、小説を選んだ回答数のところで有意差が見られた($\chi^2(1) = 14.81$, $p = .000$, $\phi = .32$)。4月調査では82.2%の回答者が小説を選択していたが、7月調査では52.1%となっている(表1-14)。小説以外の選択肢に関しては傾向の変化が見られなかったのも、英語で書かれた小説自体の問題であろうと推察されるが、実際に英語の授業等において英語で書かれた小説を読む機会があり、それを受けての結果であらうか。

4. 目標とする英語力ほどの程度ですか？

4月調査では「目標とする英語力ほどの程度ですか？そのためにどんな学習が必要だと思いますか？」を、7月調査では「目標とする英語力ほどの程度ですか？」だけを自由記述方式で質問した。ここでは、いずれの調査においても「目標とする英語力ほどの程度ですか？」に対する回答だけを紹介する。回答の分類としては、大きく「会話」「資格」「留学」「教員」「仕事」に分けた。また回答の文言については、趣旨を変えない範囲で若干の修正を施している。

▼表 3-1 目標とする英語力ほどの程度ですか？

【2019年4月】

	分 類	回 答
1	会話	日常会話ができるくらい
2	会話	外国へ行って通用するレベルの英語力
3	会話	海外で海外の人と普通に会話できる程度
4	会話	外国人と日常会話ができるレベル
5	会話	外国で英語で話せる
6	会話	会話が出来るレベル
7	会話	外国人と普通に会話できる
8	会話	会話がスムーズにできる程度
9	会話	海外に行って、会話が通じる程度
10	会話	会話がスラスラとできるレベル、字幕なしで映画が見れる
11	会話	ネイティブの人と日常的な会話や思想を話し合える程度
12	会話	英語で日常的（以上）の会話ができるくらい
13	会話	日常会話ができるくらい
14	会話	海外に行ったときに普通に話せて、楽しく過ごせる程度
15	会話	会話のできるくらいの英語力、文章を自分で書けるくらいの英語力

16	会話	ネイティブとの日常会話、しっかりと英語を文で書く力
17	会話	外国人とコミュニケーションが取りたい
18	会話	日常生活が困まらなくなるレベル（英語圏で）
19	会話	外国に行って楽しめる程度
20	会話	日常である程度会話できるレベル
21	会話	留学のある2年の秋までに、日常会話がスムーズにできる程度
22	会話	外国の人と日常会話ができる程度
23	会話	詰まらなくスラスラと話せるようになりたい
24	会話	海外で楽しく会話できる
25	会話	海外の人と難なく英会話できるレベル
26	会話	社会に出てから外国人と流ちょうに話すことができる程度
27	会話	外国に行って外国の人としっかり会話ができる程度
28	会話	自分が相手に伝えたいことをスラスラ伝えられるようになること
29	会話	外国人の方と話せるくらい
30	会話	英語を使って、円滑にコミュニケーションがとれる
31	会話、資格	相手の人と会話ができるようになること、TOEIC 700点
32	会話、資格	TOEIC 750点程度、外国人と不自由なく話せる程度
33	会話、資格	文法だけではなく、日常英語もできるようになりたい。TOEIC 800点以上
34	会話、仕事	外国人と会話ができるレベル、または就職先で使えるレベル
35	会話、仕事	英語でスラスラ会話ができ、ビジネスでも使える程度
36	資格	英検準1級か TOEIC 600点？
37	資格	英検準1級、TOEIC 600点
38	資格	英検準1級
39	資格	英検準1級
40	資格	英検準1級はとる、目標1級
41	資格	英検1級です

42	資格	英検 1 級以上
43	資格	TOEIC 700点以上
44	資格	TOEIC 730点／英検準 1 級
45	資格	TOEIC 730点
46	資格	TOEIC 730点
47	資格	TOEIC 730点以上
48	資格	TOEIC 750点
49	資格	TOEIC 750点
50	資格	卒業までに TOEIC 785点
51	資格	TOEIC 800点
52	資格	TOEIC 800点
53	資格	TOEIC 800点と英検準 1 級
54	資格、仕事	TOEIC 800点、海外で仕事がしたい
55	資格	TOEIC 850点
56	資格	TOEIC 850点くらい
57	資格	TOEIC 860点以上、英検準 1 級
58	資格	TOEIC スコア860点もしくは英検準 1 級
59	資格	TOEIC 900点
60	資格	TOEIC 990点
61	資格	TOEIC 満点
62	資格、留学	TOEFL iBT 80点
63	留学	留学でついていくための程度
64	留学	正規課程での海外留学
65	教員	高校で教えられるレベル
66	教員	英語を教えられる教師
67	仕事	英語で仕事ができるレベル
68	仕事	英語で仕事ができる程度
69	仕事	仕事で困らず使えるくらい

70	仕事	仕事で使える程度の英語力
71	仕事	ビジネスで通用する英語力
72	仕事	仕事で使えるレベル
73	仕事	仕事で使えるレベル

▼表 3-2 目標とする英語力はどの程度ですか？

【2019年 7 月】

	分 類	回 答
1	会話	留学したときに現地の人と会話ができるレベル
2	会話	ペラペラ話せる、会話できる
3	会話	何を言っているのか分かるくらい
4	会話	外国人とコミュニケーションが取れる
5	会話	外人と会話ができるレベル
6	会話	コミュニケーションを不自由なくとれるくらい
7	会話	海外で会話ができて楽しめるくらい
8	会話	自分の言いたいことがスラスラと言え、相手の言っていることも分かる程度
9	会話	海外でも旅行や会話がスムーズに出来る程度
10	会話	自分が伝えたいことを正確にそのままの意味で伝えられるようになるくらい
11	会話	日常的な会話を流ちょうに話せるようになる
12	会話	日常会話や自分の意思がしっかりと伝えるように出来るようなレベルを身につけること
13	会話	会話できる、聞ける、話せる
14	会話	日常レベルの会話
15	会話	日常会話ができる程度
16	会話	現地で誰とでもスムーズに会話ができる程度
17	会話	映画を字幕なしで意味をほとんどとらえられ、外国の人と流ちょうに話せる程度まで

18	会話	外国の方と普通に会話ができる程度まで
19	会話	外国の人と話せる力
20	会話	外国人とスムーズに会話できるレベル
21	会話	英語を使って話せる
22	会話	不自由なく外国人と話せる
23	会話	日常会話が完全にできる
24	会話	会話ができる
25	会話	海外で生活できる
26	会話	外国へ行った際、普通に話せるぐらい
27	会話	ネイティブの人とある程度の会話ができる
28	会話	海外で住める程度
29	会話	会話がスムーズにできる程度
30	会話	留学をして、会話などに困らない程度
31	会話	外国の人と議論するくらい
32	会話	日本語と同じ感覚で使える
33	会話	話せて聞けるぐらい
34	会話	日常会話、スラングなども
35	会話	ネイティブと会話ができる程度
36	会話	日常会話程度
37	会話	日常会話程度
38	会話	会話ができるようになりたい（話したり聞いたり）
39	会話	相手が話してくれることに対して、ちゃんと対応できるような Speaking 力
40	会話	英語での会話が無理なく出来る程度
41	会話	日常会話ができるようになるくらい
42	会話	外国人と普通の会話ができるくらい
43	会話、教員	実際に英語圏の人々と話が支障なくできて、英語を教えることができる

44	会話、教員	小学生や中学生に教えられるレベル、海外で現地の人と普通に会話できるレベル
45	会話、仕事	海外に行っても会話に不自由がなく、英語を仕事にできるレベル
46	会話、留学	英会話がスムーズに出来る。留学に行っても、苦勞しないぐらい
47	会話、留学	留学しても困らない程度
48	会話、留学	日常会話、大学で授業を受けられる程度
49	資格	英検準 1 級、TOEIC 700点
50	資格	まずは、英検準 1 級
51	資格、教員	英検準 1 級、TOEIC 800点台 + All English 授業50分間できる
52	資格、教員	英検 1 級、教員として教えられる英語力
53	資格	TOEIC 600点以上
54	資格	TOEIC 800点
55	資格	TOEIC 800点
56	資格	TOEIC 990点
57	資格、留学	TOEFL で 500 に近い点を取りたい。
58	資格、留学	TOEFL (ITP) 500点くらい
59	資格、留学	TOEFL iBT 80点を超えたいです
60	留学	正規課程の授業が受けられる英語力
61	留学	正規課程に入れるレベル
62	教員	英語をしっかり教えられる程度
63	教員	高校で英語が教えられるくらい
64	仕事	仕事に必要なコミュニケーション力
65	仕事	仕事でつかえる程度
66	仕事	就職先で使える英語力
67	仕事	外国人と関わる仕事ができるくらい
68	仕事	外資系で働けるレベル
69	仕事	英語を使って仕事ができる程

※ 2 名無回答

4月時点では英語で会話できることを目標としていた回答者数が35名(47.9%)であったが、7月調査では48名(67.6%)へと増加している。英米学科のカリキュラムでは週に数回ネイティブ・スピーカーの担当する授業を受講することになっているが、まだまだ会話力がないことをさらに痛感したのであろうか。英語で流ちょうに話すことができる、というのが英米学科生の英語学習の一番の目標であることにはまちががなく、必修の海外研修を含む新カリキュラムにおいて、この目標が実現されることを期待する。

資格の点では、4月は具体的な目標として英検、TOEIC、TOEFLを記入していた回答者が30名(41.1%)であったのが、7月では11名(15.5%)と少なくなっている。4月にはTOEIC 700点台という目標を設定している回答者が10名いたが、7月には700点台という回答がなくなっている。TOEIC 700点以上、できれば800点以上、そして英検準1級を資格として取得してもらいたいところである。

教員として、また仕事で英語が使いたいという回答に関しては、4月が12名(16.4%)で、9月は13名(18.3%)であり、この点に関しては変化は見られないが、全体に対する割合としては低い。英語を流ちょうに話すということも重要であるが、それだけではなく、卒業後の進路も見据えて、英語を仕事で活かすということも早い段階から視野に入れておくことも必要であろう。

※本稿の一部は、大学英語教育学会(JACET)関西支部・文学教育研究会2019年4月例会(4月27日、同志社大学烏丸キャンパス)における口頭発表をもとにしている。

参考文献

松本真治(2019)「文学と語学教育——佛教大学英米学科1回生対象の意識調査の分析(7)」 佛教大学英文学会『英文学論集』第26号 29-44頁